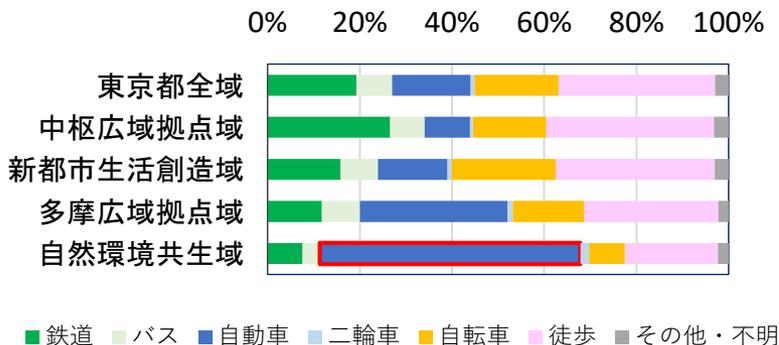


各地域区分特有の課題と対応する将来像

- 1 各地域区分の移動特性
- 2 各地域区分特有の課題
 - d. 自然環境共生域
- 3 対応する将来像

高齢者の交通手段分担率



※東京都全域および自然環境共生域からは島しょ部を除く

資料：第6回東京都市圏パーソントリップ調査
(令和元年11月)より東京都作成

自然環境共生域における住民意見

高齢者（後期高齢）で運転免許証を返納したときに、移動の交通手立てがない。利用すべく公共バスは、有っても電車との乗り継ぎが悪く時間を要して外出がしにくい。
(60代 古里)

交通手段が困難。(バスも通っていない、夜間タクシーもない)坂道も多く高齢者にとっては歩くのも大変です。それぞれ地域の実状に応じた行政サービスをお願いしたいと思います。(女 70~74歳 氷川)

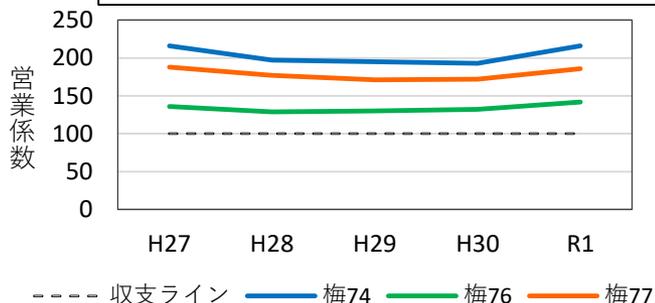
出典：奥多摩町まちづくり住民アンケート調査(令和元年度版)より抜粋

出典：奥多摩町まちづくり住民アンケート調査(平成29年度版)より抜粋

- 奥多摩町のアンケート結果からは、公共交通が不便なため自動車に頼って生活しているという現状がうかがえる

- 自然環境共生域は他の地域に比べて高齢者の自動車への依存率が高く、65歳以上の移動の半分以上を占めている

自然環境共生域を走行する都営バス路線の営業係数推移



資料：東京都交通局 平成27年～令和元年度決算より東京都作成



参考：対象路線箇所

輸送資源の総動員事例 (我孫子市)



出典：地域公共交通の活性化・再生への事例集(平成19年度/国土交通省)

- 我孫子市では、教習所等の送迎バスの空席を活用し高齢者外出支援に資する無償運送を行っている
- 市は、送迎バス所有法人等との協定締結や、保険料の負担等で運行を支援している

- 自然環境共生域を運行する路線バス事業者の経営は厳しく、単体での維持は困難な状況にあり、**旅客運輸以外からの収入確保策も必要**
- 過疎地域や公共交通空白地域の移動手段の確保に向け**輸送資源を有効に活用する仕組みや機運醸成が必要**

観光資源への円滑な移動

2 各地域区分特有の課題 d. 自然環境共生域

自然環境共生域における観光資源

高尾山



出典：東京都産業労働局HP

日原鍾乳洞



出典：東京都環境局HP

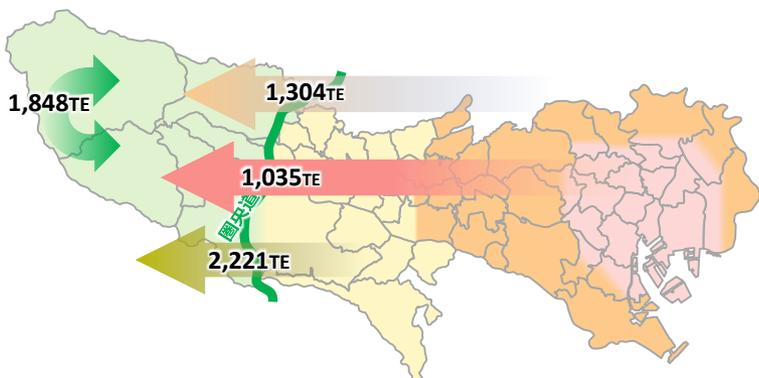
アクティビティ



出典：青梅市観光協会HP

- 自然環境共生域は豊かな自然環境などの資源を活かしたレジャースポットとなっている

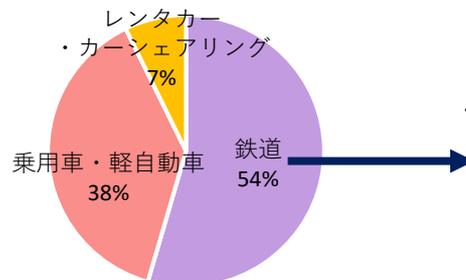
自然環境共生域への観光・行楽・レジャーを目的とした移動状況



資料：第6回東京都市圏パーソントリップ調査（令和元年11月）より東京都作成

- 自然環境共生域への観光関連のトリップ数をみると、内々交通よりも、その他地域から流入してくるトリップの方が多い

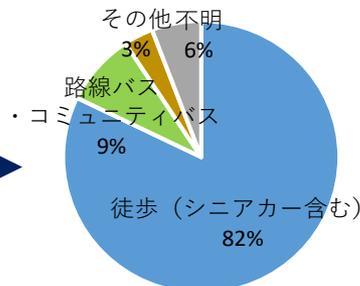
自然環境共生域を除く都内から自然環境共生域への移動手段



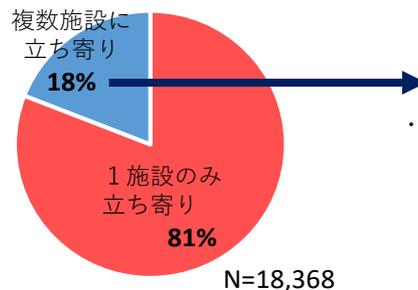
資料：第6回東京都市圏パーソントリップ調査（令和元年11月）より東京都作成

- 自然環境共生域への観光アクセスは4割程度自動車に依存
- 鉄道での来訪者は駅徒歩圏の施設への立ち寄りにとどまる

自然環境共生域での鉄道降車後の末端交通手段



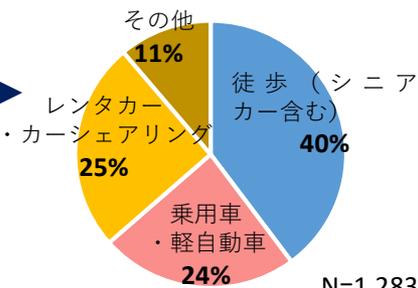
自然環境共生域へ観光等の目的で来訪した人の立ち寄り施設数



資料：第6回東京都市圏パーソントリップ調査（令和元年11月）より東京都作成

- 複数の施設を周遊している割合は2割以下で、そのうち半数が乗用車やレンタカーを用いている
- 公共交通による周遊環境の充実や観光MaaSの普及により来街者の公共交通利用を促し、運輸収入を確保し、生活路線の維持につなげる必要がある

周遊の際の代表交通手段



各地域区分特有の課題と対応する将来像

- 1 各地域区分の移動特性
- 2 各地域区分特有の課題
- 3 対応する将来像**

< 中枢広域拠点域 >

- 高密な鉄道・バス網を活かしたシェアリングサービスやMaaSの広域的な実装等により、大量輸送と個人に寄り添うサービスの両立を実現
- 移動の利便性、快適性を追求し、首都の都市活力を持続的に向上

< 新都市生活創造域 >

- 鉄道等の混雑緩和による快適性向上
- 道路状況に適した輸送モードの導入や小型モビリティの利用環境の改善による利便性の向上
- 発災時においても機能する地域公共交通の実現

< 多摩広域拠点域 >

- コミュニティバス等の持続可能性向上や身近な生活を支える移動手段の充実により、快適な住環境を実現する移動環境を構築
- リニア等インフラの整備効果を高める広域的な地域公共交通施策の展開

< 自然環境共生域 >

- 輸送資源の総動員や新技術の活用により、住み慣れた地域での暮らしを支える生活の足を確保
- 観光政策と地域公共交通政策との連携強化による移動手段の確保、まちの活力維持